

第 61 技能五輪全国大会「プラスチック金型」職種の総評

R5 11.10~11.16, 日立 Astemo 佐和グローバル教育センタ 工場棟 1F・2F

競技主査 新家寿健

1. 参加者等

参加者 31 名 (29), 金型受取 27 (29), プラスチック製品提出 24 (29), 連続生産 11 個以上 19, 組立状態減点無し 16 (20), 事業所数 12 () は昨年度

2. 競技時間等

課題公表;大会の 2 カ月前

競技 1(金型設計);金型設計・加工計画;2 時間

競技 2(金型製作)機械加工;3 時間 30 分, 仕上加工;3 時間 15 分

競技 3(射出成形)製品成形;0 時間 40 分(金型段取りを含む)

3. 成績結果の概要

参加選手 31 (29) 名中 13 名が入賞し, 平均点は 91.3 (96.1) 点であった. 図 1 に入賞者, 80 点以上の順位と得点の関係を示す. 1 位の選手の得点は 98.8 (101.0) 点, 2 位の選手は 98.2 (100.8) 点となった. 3, 4 位の選手は 96.0 (98.0) 点, 95.1 (98.0) 点である. 得点差が 4 点程度となった. 5 位から 7 位までの銅メダルは 90 点以上を獲得している. 以降 19 (23) 位の選手まで 80 点台の得点を獲得している. 全選手の平均得点は 77.4 (89.2) 点である.

3D モデリング課題を廃止し, 図面採点と作業態度等から合計 8 点をプラスチック製品採点に再配点することで 44 点とした. これにより昨年度に比べて得点分布を分散することができた. 上位の選手は金型の寸法精度, 成形品の寸法精度ともに高得点を獲得しており, 成形品の外観検査の結果が順位を決める要因となった.

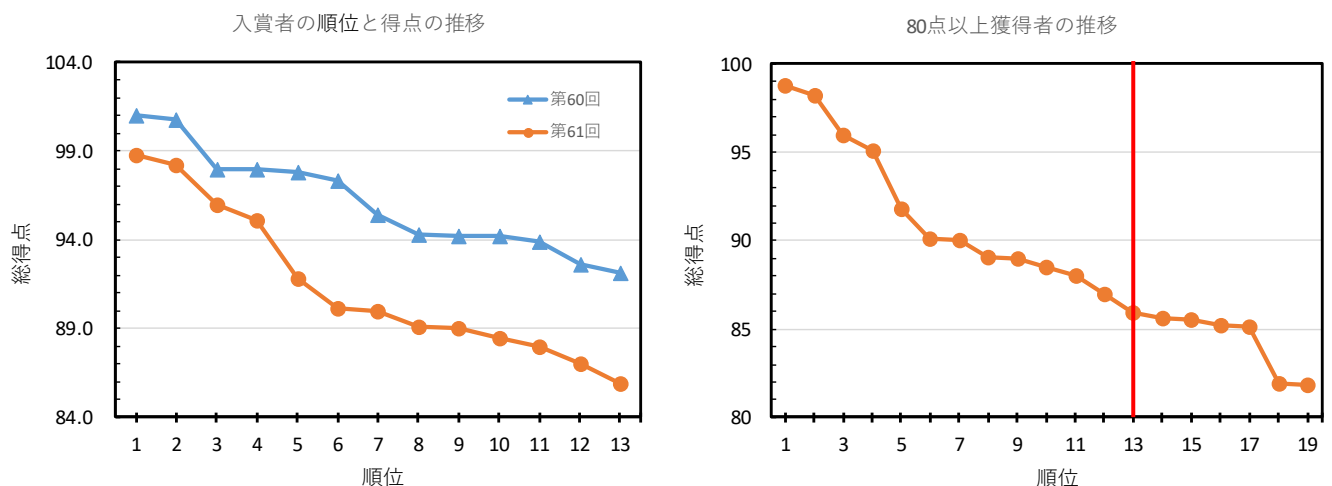


図1 順位と得点の関係

4. 課題のレベルと作品の出来栄

新たに導入された寸法変更及び連続 5 ショット追加に対応できているかを確認できる課題を選出した. 結果としてプラスチック製品提出者は 24 名, 15 個連続生産品提出者は 15 名, 11 個連続で製品外観検査にて加点された選手は 19 名であった. 製品の組立状態で減点された選手は 8 (9) 名となった. 製品寸法は上位選手の多数が満点を獲得した. 製品の外観検査は外観評価基準を設けたことで選手の

磨きの技量が数値として明確に反映された結果となった。

5. 表彰に関すること

金賞 1 名（トヨタ自動車（株） 畑田 翼選手），銀賞 3 名，銅賞 3 名，敢闘賞 6 名で，連続生産ができた 19（25）名中，プラスチック成形品外観採点で加点が多かった 13 名が入賞した。

6. 競技の運営，設備に関すること

競技会場の広さ，レイアウトは問題の無い環境であった。会場を提供し電源設備など細やかに対応していただいた日立 Astemo 様に感謝申し上げます。

次年度以降の大会において，競技エリアの広さは開催県によっては同様のエリアが確保できないことも考慮して競技運営の工夫をしていく必要がある。

※トラブル等

昼食の有無に関する連絡が行き届かずご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

次回大会では、早めに情報展開するようにします。

第 62 回技能五輪全国大会実施（案）

競技会場 未定

スケジュール

11 月 15 日（金）フライス精度検査、金型設計

11 月 16 日（土）～17 日（日）機械加工

11 月 18 日（月）機械加工予備、成形練習、仕上競技

11 月 19 日（火）競技無し（金型採点）

11 月 20 日（水）成形競技

11 月 21 日（木）搬出、採点・集計

メイン会場：愛知県国際展示場他

日程：11 月 22 日（金）開会式、11 月 25 日（月）閉会式

以 上